

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う教区からのお知らせ

沖縄教区各教会の皆様

教役者の皆様

2020年 4月 9日

沖縄教区 主教 ダビデ・上原榮正

主にある平安をお祈りいたします。

世界中で、新型コロナウイルスの感染が止まることなく広がっています。日本でも緊急事態宣言が、4月7日に安倍首相から出されました。沖縄も、3月末から相次いで出て、玉城沖縄県知事も沖縄も危険な状況になりつつあるとの認識を示しました。

この状況下で、4月8日に教役者会を開きましたが、三原、宮古、石垣、愛楽園からは参加は難しいとのことで、今流行りのネット会議となりました。その中で、聖職者の中に2次接触者が出てことが知らされました。

私たちは、いつ、どこで、どのような形で、コロナウイルスと接触しているのか、わからないということを確認しました。

そこで、話し合いの結果、イースター礼拝（4月12日）後、4月末までの各教会の礼拝を、**原則休止**と致しました。地域によっては温度差もありますから、強制は致しませんが、みなさまのご協力と、ご理解をお願いいたします。

主日の礼拝を守ることが出来ないのは、とても寂しく、辛いことですが。礼拝の休止によって、人と接触しない、これが感染の拡大を防ぎ、混乱を収束へと向かわせる有効な手立てだと専門家は述べています。このような意見に沿って、不安や混乱の沈静化へ向け協力することも、教区・教会の責任だと思います。

隣人から遠ざかることは、イエスさまの教えとは、反することのように聞こえます。でも、「ヌチドゥタカラ(命こそ宝)」です。何よりも、命を大切にする、これが、イエスさまの教えでもあります。どうか、皆さまのご理解と、ご協力をお願いいたします。

あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。(ヨハネ16:33)

教区として、以下のことをお願いします。

1. 4月19日（復活後第1主日）、4月26日（復活後第2主日）主日礼拝および週日の礼拝を休止します。再開に関しては、4月末の感染状況を踏まえて、判断します。
2. 各教会における主日礼拝等は、各教役者が定住教会で、定時に、ご家族などとお献げください。お独りの場合は朝の礼拝やみ言葉の礼拝を行ってください。
3. 信徒の皆さんは、所属教会の主日礼拝の時間になりましたら、教会で礼拝を守っておられる教役者と心を合わせて、ご自宅で祈りをお献げください。その場合、祈祷書と聖書をご準備の上、以下のような方法をお勧めいたします。
 - ①定時になったら「父と子と聖霊のみ名によって アーメン」と唱える。
 - ②「主の祈り」を唱える。
 - ③その主日の「特禱」を唱える。
 - ④その主日の「福音書」を朗読し、しばらく黙想する。
 - ⑤個人の祈りや代禱を祈る。
 - ⑥祈祷書137ページの「家族の朝の祈り」を唱える。
4. 主日礼拝は休止しますが、この間の信施金、月約献金などは、主日礼拝再開時にお献げください。
5. 緊急な出来事や葬儀に関しましては、十分な感染予防対策をした上で執り行ってください。
6. 教区内各グループ等の会議・会合に関しましても、4月末まで、原則中止とします。必要な会議は、メールやテレビ会議等をお願いしたいと思います。
7. 幼稚園・保育園の保育活動に関しましては、各自治体の指示を踏まえ、各法人本部と各園同士でも、連絡を取りながらご判断ください。

最後に、コロナウイルスによって、苦しんでおられる方々が1日も早く回復されますように、また生活困窮に陥っている人々や、このために努力しておられる医療従事者やご家族の方々、尊い命を失われた方々の魂の平安をお祈りいたします。

主にあつて。